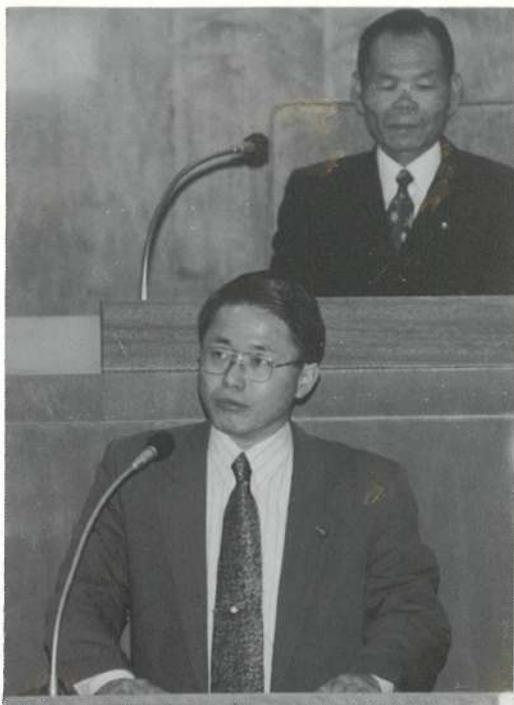




誠心 ファミリー 第5号

発行日 平成10年4月1日
発行者 誠心会会长 下采一彦
呉市本通6-2-23 ☎0823-25-0460

12月定例会 代表質問 ポートピアの高層住宅街転用を!! 計画倒れ、累積赤字58億円に!!



▲本会議場で代表質問する谷本議員

開業後わずか4ヶ月でクリアしたのは、ポートピアの2.4倍もの面積を誇る規模の違いもさることながら、倉敷市特有の古い街並みを中心とした観光資源と、JR倉敷駅のそばであるという地の利が大きく作用していると、谷本議員は分析しました。

そこで、残り2年間の支援期間を漠然と過ごしていると取り返しのつかない事態を迎えると指摘。期間の切れる2年後をにらみ、早急に抜本策を講じることの必要性を訴えました。

そして一つの私案として、谷本議員が当選前から提案していた、ポートピア撤退後の土地を民間に売却、民間活力で高層住宅マンション等の建設を促進する施策を披露。せっかく新設したJR駅を活かし、広島市への通勤に便利な住宅地としての高度利用を図ることにより、紙くずとなつた5億円分の株損失を補填し、地域の活性化につながることが見込まれるというものです。

但し、様々な関係法令の障害があると認識していることも説明。公園としての代替機能として、同規模の面積を天応地区で確保するには、現在進行している天応福浦沖の第2期埋め立て地を、法の網をかぶせた公園として位置づけることにより可能であることを指摘し、市当局に対し、その点を検討の対象に含めるよう要望しました。



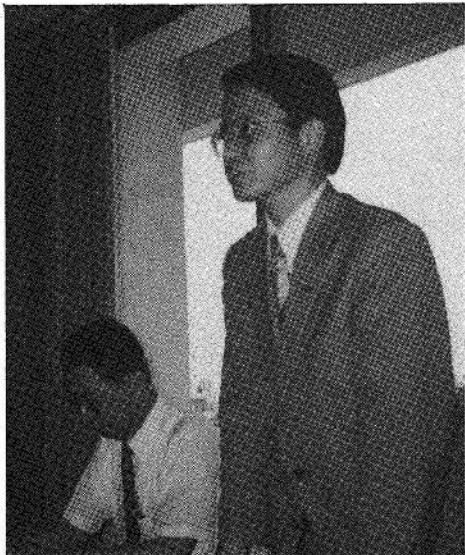
▲2年間で20億円の赤字を積み増した呉ポートピア



▲開業後、連日超満員の倉敷チボリ公園

谷本議員、当選1期で建設委員長に就任!! 呉駅南・貨物ヤード跡地の活用が活性化の鍵!!

▶建設委視察先での谷本委員長



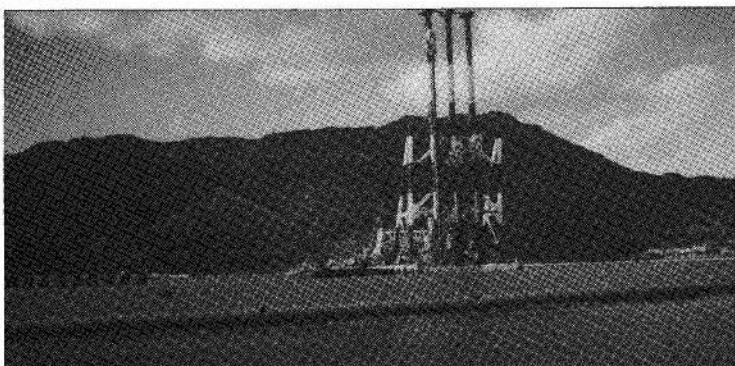
平成9年の6月定例会において、谷本議員は建設常任委員長に任命されました。呉市議会では、建設委員会と合わせ4つの常任委員会に分かれ、議案を審議することになっています。従って本会議上程前に、委員長采配のもとに採択された議案が議会の意志となることがほとんどで、実質的な議論が展開される場となるわけです。

建設委員会で扱う所管事項は多々ありますが、その中でも、呉駅南側の国鉄清算事業団用地を含む遊休地を区



▲呉港と一体となって整備する、呉駅貨物ヤード跡地

阿賀マリノ マリーナ誘致は採算性を第一に!!



▲埋め立てが進む阿賀マリノポリス第1期2工区

平成9年12月定例会で谷本議員は、阿賀マリノポリスの埋め立てに関連し、ボートの係留施設であるマリーナ誘致の際、採算性を度外視した安易な第3セクター方式は現実的でないと指摘。埋め立てた土地を市が整備したり、マリーナの施設まで建設して民間に貸したりせず、事業費の借金分を清算するため、あくまで土地を民間に売却することを条件に、マリーナを開設するべきと訴えました。

質問に先立ち谷本議員は、県と広島市が多額を出資し、造成と施設建設をした観音マリーナを視察。いくら不法係留対策で県が条例を設置するとは言え、バブルのはじけた今日、プレジャーボートは一時のブームから下降線をたどっているとし、赤字覚悟で市が出資する第3セクター方式は、観音マリーナの経営難もあり、安易に採るべきではないと主張しました。今後マリーナや関連用地の縮小も含め、再検討を市港湾部に促しました。



▲経営に苦しむ第3セクター、広島觀音マリーナ

3月定例会 予算委員会 市営バス審議会は民営化も議論に 17億円累積赤字予想に歯止めを



▲今後毎年10億円近くの赤字が予想される呉市営バス

でついに累積損失が10億円を突破。今回の予算委員会で可決された9年度補正予算では、6億3千万円の赤字ですから、9年度末では17億円近くの累積損失が目に見えています。

谷本議員は当選当初から、経営改善に向け本腰を入れて取り組むには、有識者で構成する審議会を早急に設置すべきと主張して来ましたが、時遅くしてようやく実現にこぎ着けました。

平成10年3月定例会での予算特別委員会で、谷本議員は全ての部門について連日質問に立ちました。

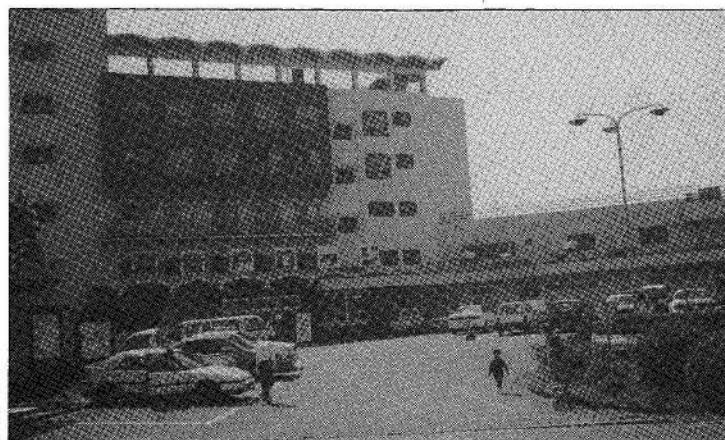
その中で、この4月から始まる市営バスの経営審議会について言及。公営交通の存続を前提に審議することは、経営健全化の大目標にそぐわないばかりか、議論が拘束され、小手先の改革に終わる恐れがあると懸念し、民営化も視野に入れ、幅広く意見を集約すべきと訴えました。

市営バス事業は、平成8年度決算

経営難・音戸ロッジの早期民間委託化を要請!!

谷本議員は、8年度末4千5百万円の赤字を計上、累積損失が4億円を超え、6億8千万円もの不良債務を抱えた音戸ロッジ・国民宿舎事業についても言及。行政改革大綱にも盛り込まれている音戸ロッジの民間への部分委託が新年度予算案に反映されていないことを確認した上で、早急に実現するよう要望しました。

当局は、ロッジの喫茶や厨房部門を直営と切り離して民間に委託することを検討していると証し、その実施時期については今後の課題であると答弁しました。



▲6億8千万円もの不良債務を抱える音戸ロッジ

家庭ごみ有料化で資源物収集のコスト削減を!!



▲ごみ有料化先進・関市を視察の谷本議員(左)

資源物8分別収集について谷本議員は、当局のコスト意識の欠如を指摘。新事業に9千円もつぎ込むことに対し、どこからその費用を捻出するのかただしました。それとは別に缶の磁選機は既に設置、リサイクルプラザの建設等新たな費用負担が目白押しで、市民の血税を投入せざるを得ないのが実状です。

そこで谷本議員は、ごみ収集のコスト意識を市民に植え付け、応分の負担を求める意味からも、家庭ごみ回収の有料化を指定袋導入で具体化し、それを資源物収集のコスト軽減に役立てるべきと主張。こうすれば家庭ごみも、先進都市・岐阜県関市によると、初年度3割もの減量化が予想でき、最終埋め立て処分場の延命化と共に一石三鳥の効果が期待されます。

議員2周年 谷本誠一市政報告会に110名!!



▲行政改革の前に議員自身の改革の必要性を説く谷本議員

平成9年4月20日、谷本誠一後援会「誠心会」は、谷本議員の活動2周年を記念して、市政報告会を本通小学校体育館にて開催。111名の会員・支持者が、谷本議員の議会裏話も交えた報告に熱心に聴き入りました。

谷本議員は、年1回必ず全誠心会員を対象に市政報告を行うこととしており、この日も夫人によるピアノ伴奏で、得意?の喉を披露しました。

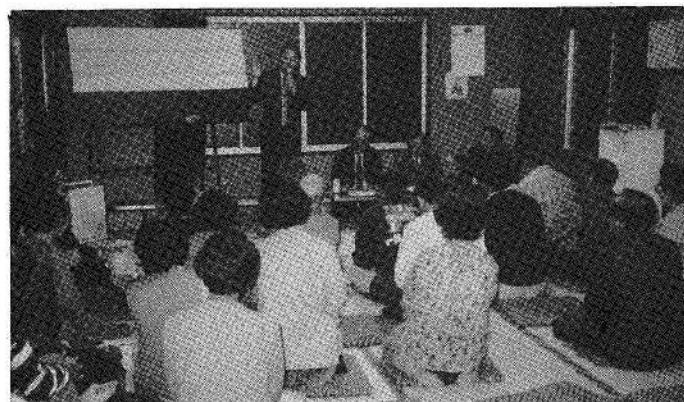
地区別 地元曙町、隣町栄町で連続開催!! 市政報告会 商店街活性化は自主努力が基本!

平成9年10月16日と21日、お膝元の曙町地区と、友好関係にある隣町の栄町地区でも市政報告会を連続して展開。各々下采一彦誠心会会长、濱田利昭誠心会副会長を中心となって開催し、共に20数名が集まり、和気あいあいとした雰囲気の中で質問も集中しました。

谷本議員は特に、地元商店街の活性化対策について、堺川河畔の駐車場整備事業が頓挫している経緯から説明しました。二級河川としての県の厚い壁や、市による河畔道路の一方通行化も障害となっていると指摘。土地提供で公共施設を誘致し、市営駐車場との複合化や、商店街の空き家を活用して地元一体となれば、市や県の中小企業団体から建設費の計7割もの助成を受ける選択肢も残されていると述べました。



▲下采誠心会会长宅での曙地区市政報告会



▲消防団第5分団での栄町地区市政報告会

谷本誠一役職

呉市議会議員
改革派保守系会派「市民クラブ」所属
建設常任委員会委員長
テクノポリス対策特別委員会委員
議会運営委員会委員
呉市農業委員会委員
呉市都市計画審議会委員
呉市廃棄物減量等推進審議会委員
呉市同和対策推進協議会委員
呉飲食組合顧問
呉市広吉松地区土地区画整理事業
組合設立準備委員会顧問
広域政策集団「交流」事務局次長
呉市日韓友好協会会員
天皇・皇后両陛下を広島へお迎えする会
事務局長
曙町自治会顧問
呉三津田26回同期会幹事
江小第1期同窓会事務局長
日本将棋連盟呉将棋愛好会支部事務局長
呉将棋愛好会師範（四段）・学生会主幹
谷本誠一将棋教室講師